

2 費目別指数の動き

2-1 食料

食料は105.3となり、前年に比べ4.1%の上昇となった。

上昇した項目で代表的なものは、穀類（7.9%）、魚介類（6.4%）、菓子類（5.7%）であった。

生鮮食品では、生鮮魚介（6.1%）、生鮮野菜（1.8%）及び生鮮果物（4.7%）がいずれも上昇したことにより、生鮮食品全体では3.9%の上昇となった。

図7 食料指数の月別の動き

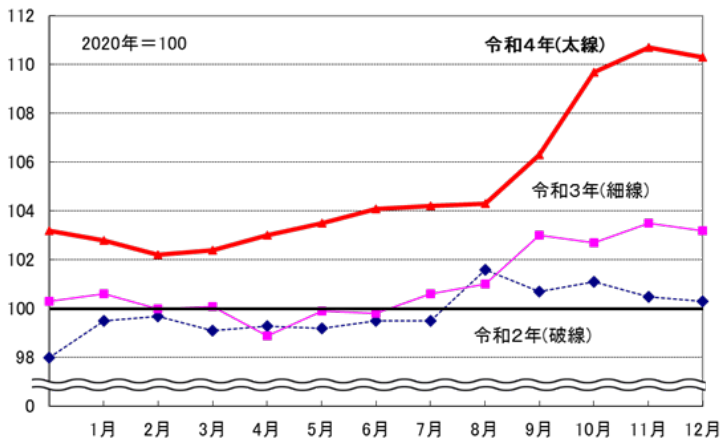


図8 生鮮食品指数の月別の動き

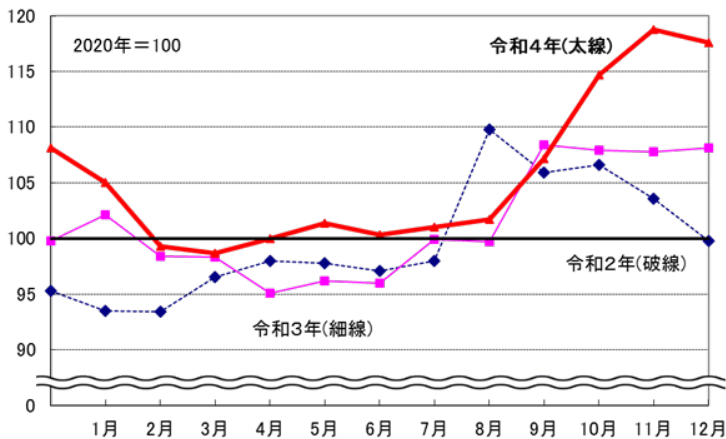


表4 食料の中分類別前年比の動き

中分類	前年比の動き (%)		
	2年	3年	4年
食料	1.2	1.1	4.1
穀類	-0.9	3.9	7.9
魚介類	-1.0	1.9	6.4
肉類	2.2	1.8	5.5
乳卵類	-1.5	-1.1	3.2
野菜・海藻	5.6	-1.0	1.9
果物	5.3	5.2	4.0
油脂・調味料	-0.9	-2.0	3.6
菓子類	-0.3	2.3	5.7
調理食品	1.8	0.5	2.8
飲料	-1.6	1.6	4.7
酒類	1.9	1.9	2.9
外食	1.7	0.0	2.0
生鮮食品	2.2	1.5	3.9
生鮮魚介	-4.3	3.0	6.1
生鮮野菜	6.5	-2.0	1.8
生鮮果物	5.7	5.9	4.7

図9 生鮮魚介指数の月別の動き

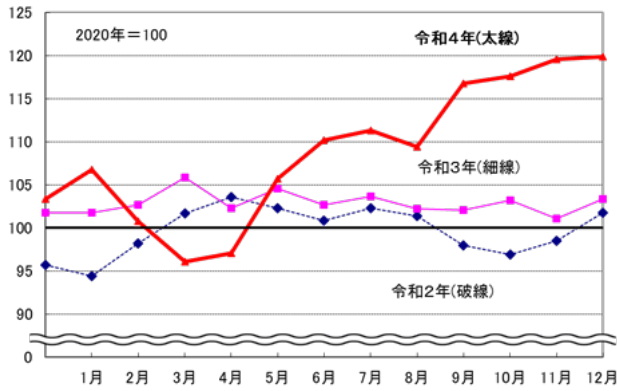


図10 生鮮野菜指数の月別の動き

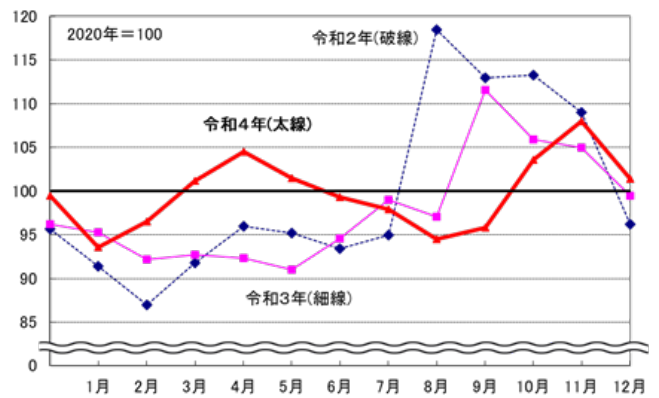
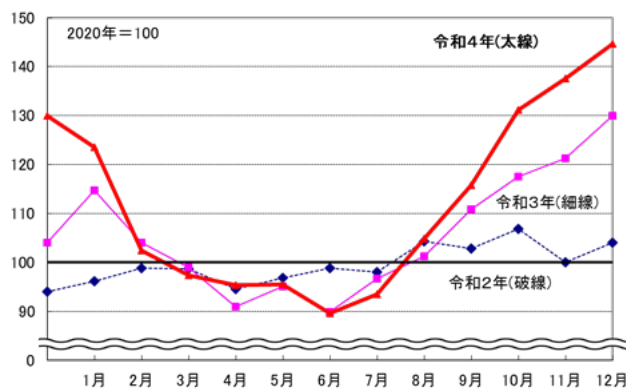


図11 生鮮果物指数の月別の動き



2-2 住居

住居は99.5となり、前年に比べ0.3%の下落となった。
 上昇した項目は、設備修繕・維持（2.1%）であった。
 一方、下落した項目は家賃（-0.8%）であった。

図12 住居指数の月別の動き

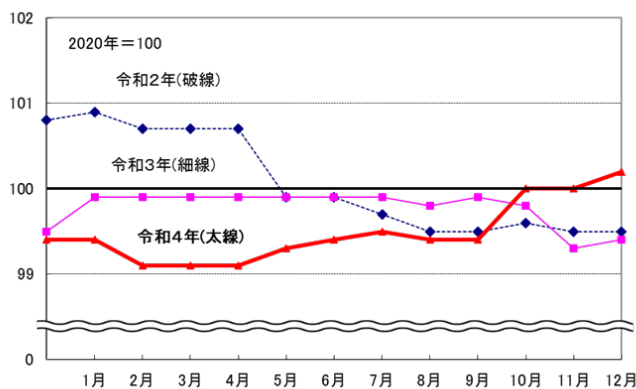


表5 住居の中分類別前年比の動き

中分類	（%）		
	2年	3年	4年
住居	-0.8	-0.2	-0.3
家賃	-1.2	-0.8	-0.8
設備修繕・維持	0.8	3.1	2.1
持家の帰属家賃を除く住居	-0.3	1.4	1.0
持家の帰属家賃を除く家賃	-1.8	-1.4	-1.0

2-3 光熱・水道

光熱・水道は111.2となり、前年に比べ11.4%の上昇となった。

上昇した項目は、ガス代（19.5%）、他の光熱（17.6%）、電気代（13.4%）であった。

図13 光熱・水道指数の月別の動き

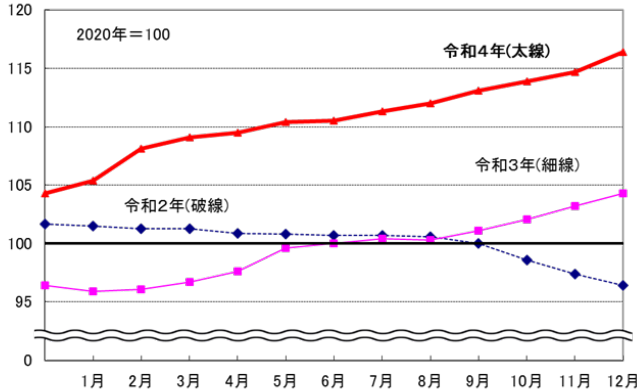


表6 光熱・水道の中分類別前年比の動き (%)

中分類	2年	3年	4年
光熱・水道	-1.5	-0.2	11.4
電気代	-2.2	-0.4	13.4
ガス代	-1.5	-1.3	19.5
他の光熱	-4.2	10.0	17.6
上下水道料	1.5	0.0	0.0

2-4 家具・家事用品

家具・家事用品は105.0となり、前年に比べ2.4%の上昇となった。

上昇した項目は、家事雑貨（7.2%）、寝具類（4.7%）、家庭用耐久財（3.1%）、家事サービス（1.6%）であった。

一方、下落した項目は家事用消耗品（-1.3%）、室内装備品（-0.3%）であった。

図14 家具・家事用品指数の月別の動き

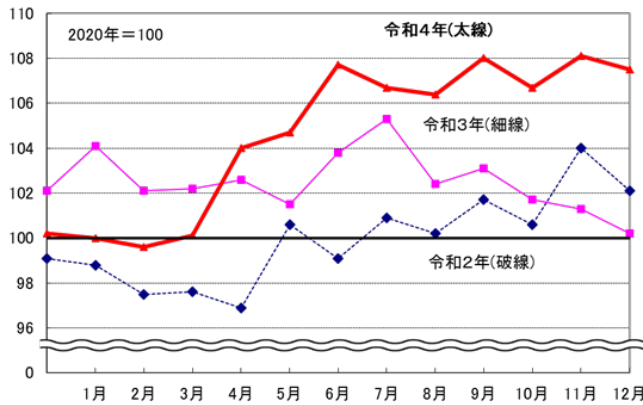


表7 家事・家具用品の中分類別前年比の動き (%)

中分類	2年	3年	4年
家具・家事用品	3.8	2.5	2.4
家庭用耐久財	1.9	4.5	3.1
室内装備品	-5.6	1.6	-0.3
寝具類	4.7	2.0	4.7
家事雑貨	7.7	2.0	7.2
家事用消耗品	5.6	2.0	-1.3
家事サービス	1.4	0.0	1.6

2-5 被服及び履物

被服及び履物は101.8となり、前年に比べ1.0%の上昇となった。

上昇した項目は、被服関連サービス（3.8%）、他の被服類（2.2%）、履物類（2.0%）、シャツ・セーター・下着類（1.5%）であった。

一方、下落した項目は、衣料（-0.3%）であった。

図15 被服及び履物指数の月別の動き

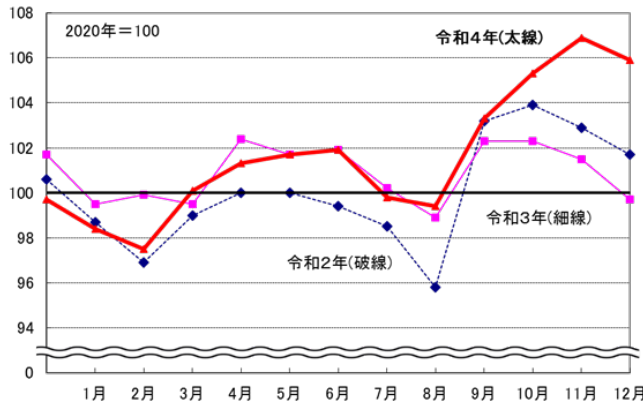


表8 被服及び履物の中分類別前年比の動き (%)

中分類	2年	3年	4年
被服及び履物	1.4	0.8	1.0
衣料	2.3	1.1	-0.3
和服	14.5	-4.5	0.0
洋服	1.5	1.1	-0.3
シャツ・セーター・下着類	0.4	2.1	1.5
シャツ・セーター類	1.0	2.9	1.9
下着類	-1.0	0.4	0.6
履物類	3.5	-3.9	2.0
他の被服類	-4.7	0.8	2.2
被服関連サービス	3.0	2.7	3.8

2-6 保健医療

保健医療は97.5となり、前年に比べ0.8%の下落となった。

上昇した項目は、医薬品・健康保持用摂取品（0.4%）であった。

一方、下落した項目は、保健医療サービス（-1.3%）、保健医療用品・器具（-0.7%）であった。

図16 保健医療指数の月別の動き

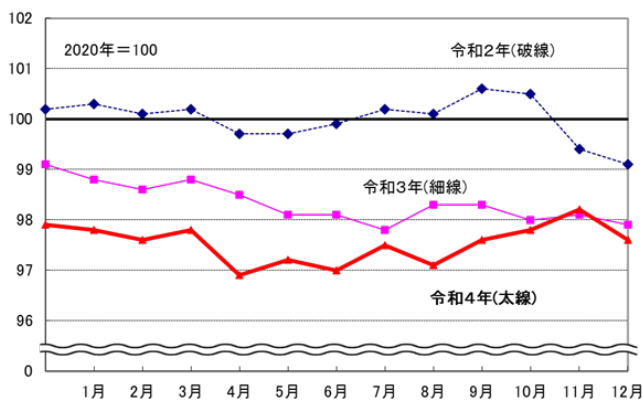


表9 保健医療の中分類別前年比の動き (%)

中分類	2年	3年	4年
保健医療	-0.3	-1.7	-0.8
医薬品・健康保持用摂取品	1.4	-0.4	0.4
保健医療用品・器具	-3.0	-6.8	-0.7
保健医療サービス	-0.1	-0.8	-1.3

2-7 交通・通信

交通・通信は91.2となり、前年に比べ2.5%の下落となった。

上昇した項目は、自動車等関係費（2.1%）であった。

一方、下落した項目は、通信（-13.1%）、交通（-0.4%）であった。

なお、通信の大幅な下落には、令和3年4月以降の携帯電話通信料が影響した。

図17 交通・通信指数の月別の動き

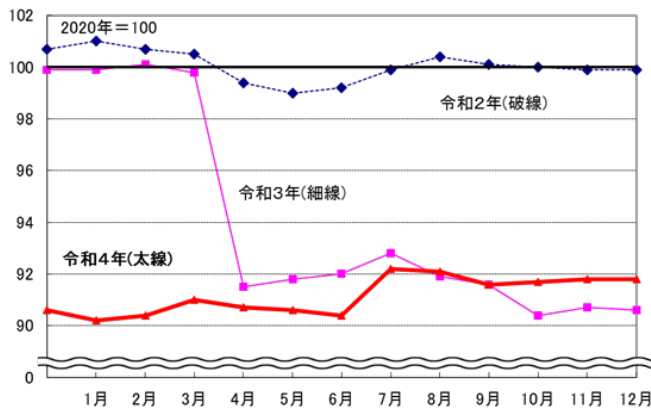


表10 交通・通信の中分類別前年比の動き (%)

中分類	2年	3年	4年
交通・通信	-0.1	-6.4	-2.5
交通	2.4	0.5	-0.4
自動車等関係費	-0.6	2.0	2.1
通信	0.2	-21.9	-13.1

2-8 教育

教育は100.1となり、前年に比べ0.1%の下落となった。

上昇した項目は、教科書・学習参考教材（3.1%）、補習教育（0.7%）であった。

一方、下落した項目は、授業料等（-0.5%）であった。

図18 教育指数の月別の動き

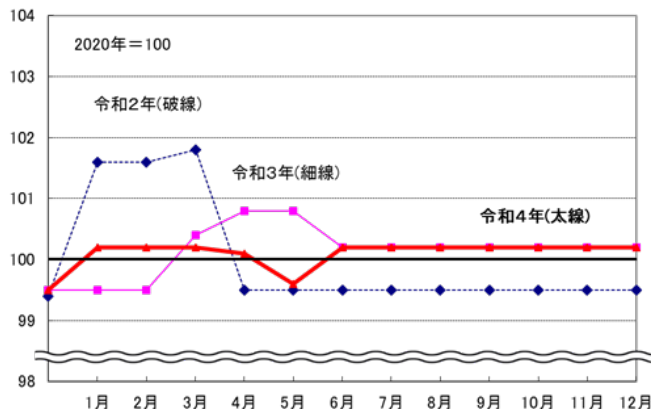


表11 教育の中分類別前年比の動き (%)

中分類	2年	3年	4年
教育	-1.9	0.2	-0.1
授業料等	-4.4	-1.3	-0.5
教科書・学習参考教材	1.3	0.2	3.1
補習教育	2.9	3.5	0.7

2-9 教養娯楽

教養娯楽は102.6となり、0.5%の上昇となった。

上昇した項目は、教養娯楽用耐久財（4.3%）、書籍・他の印刷物（1.9%）、教養娯楽サービス（0.2%）であった。

一方、下落した項目は、教養娯楽用品（-0.6%）であった。

図19 教養娯楽指数の月別の動き

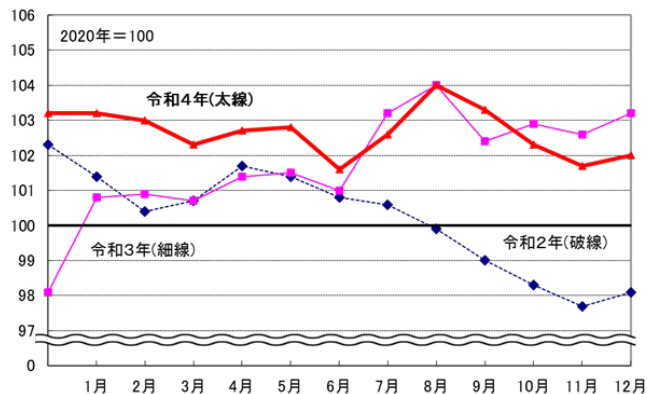


表12 教養娯楽の中分類別前年比の動き

中分類	前年比の動き (%)		
	2年	3年	4年
教養娯楽	-0.8	2.1	0.5
教養娯楽用耐久財	0.9	-2.5	4.3
教養娯楽用品	0.1	2.6	-0.6
書籍・他の印刷物	0.6	1.8	1.9
教養娯楽サービス	-1.6	2.5	0.2

2-10 諸雑費

諸雑費は100.8となり、前年に比べ0.1%の下落となった。

上昇した項目は、たばこ（4.8%）、理美容サービス（0.3%）であった。

一方、下落した項目は、他の諸雑費（-0.8%）、理美容用品（-0.5%）、身の回り用品（-0.5%）であった。

図20 諸雑費指数の月別の動き

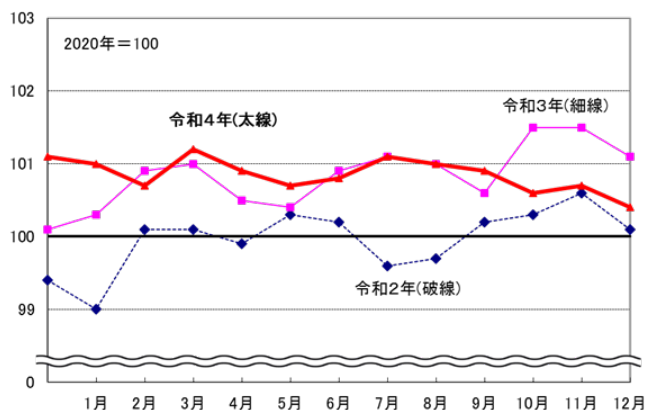


表13 諸雑費の中分類別前年比の動き

中分類	前年比の動き (%)		
	2年	3年	4年
諸雑費	-1.7	0.9	-0.1
理美容サービス	1.9	0.1	0.3
理美容用品	1.2	-0.3	-0.5
身の回り用品	-0.3	-2.3	-0.5
たばこ	3.7	8.5	4.8
他の諸雑費	-7.3	1.6	-0.8